

**【アメリカ中央政府が2300兆円の財政赤字を抱えていることを
正直にツイートしてしまったトランプ大統領】**

⇒編集後記で（21ページから）

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

<新無料案件>

**東京大学大学院卒業後に
2億5375万円を稼いだ男が登場！**

東大卒業後に1年で2.5億円稼いだ

**この板橋さんが
今回なんと49万8000円相当のプレゼントを
無料で配布するそうです！**

【49万円相当の特典⇒無料】

東大卒業後に2億5375万円を稼いだ男が登場！

⇒ <http://www.fxgod.net/a/groups/1427489/25/>

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

ゆうPDFレポート

【アメリカでリーマンショック以来初めて
ジャンク債の発売が売れ行き不振で0件になっている】

⇒ http://fxgod.net/pdf/junk_zero.pdf

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

【ゆうのPDF分析レポート（国際政治力学）】

2019年は在韓・在日米軍撤退議論が
一気に重要トピックになっていく】（22ページより）

⇒ http://fxgod.net/pdf/2019_zaikanbeigun.pdf

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

どうもゆうです。

読者さん、こんばんは！！

さて、昨日は少しリーマンショック以来異変が確認できる

アメリカの債券市場、特にジャンク債市場についての

内容を書きました！

市場の状況としては相当不安定な環境がありますから

こういう環境を知っておくのは大事かな～と私は思います。

ほんと何があっても大丈夫なように防御を強くしておきたい

ところです。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

ゆうPDFレポート

【アメリカでリーマンショック以来初めて
ジャンク債の発売が売れ行き不振で0件になっている】

⇒ http://fxgod.net/pdf/junk_zero.pdf

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

さて、それでなんだかんだアメリカの財政赤字というのが

それこそ来年もですし、2020年代前半にかけて

大変重要な要素になってくると思いますが

実は今年なんかはトランプ大統領が結構すごい発言を

ツイッターでしてまして

それが「アメリカの財政赤字は21兆ドル（約2300兆円）
もあるのだ」

ということを今年、普通に言ってしまってるんですね。

たぶんこのアメリカの財政赤字が約2300兆円もある

なんてのは日本のメディアでは報道されないから

驚く人はいるだろうし

今まで「頭がちょっとおかしいと言われていた日本の言論人」

たちだけが言っていた内容がまさに

この財政赤字の話でしたが

トランプ大統領がそれをツイッターで普通に

ある種公式に、発言したわけです。

それでこの財政赤字の部分はやはり長期で

「効いてくる」話だから、知っておいたほうがいいでしょう。

編集後記で！

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

特典が豪華な年末の無料案件

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

さて、昨日の東大式錬金術ですが

49万8000円相当の特典を無料でもらってしまう

ということで人気ですね～～

**もうすでにこちらの無料でもらえてしまう特典の
内容はチェックしていただきましたか？**

【49万円相当の特典⇒無料】

東大卒業後に2億5375万円を稼いだ男が登場！

⇒ <http://www.fxgod.net/a/groups/1427489/25/>

さて、今日はこちらの案件を担当してる

豊田さんより引き続き読者さんにメッセージです！

↓↓

【 緊 急 告 知 】

**総額 498,000 円が
今回 0 円で手に入る
【無料モニター】さまを
人数限定で募集致します！**

・ 月収 1 0 0 万円

↓ ↓ ↓ ↓ ↓

・ 月収 3 0 0 万円

↓ ↓ ↓ ↓ ↓

・ 月収 5 0 0 万円

そして

年収 1 億円の实体験を手に入れてください

↓

⇒ <http://www.fxgod.net/a/groups/1427489/25/>

しかも、無料モニター参加者さまには

【豪華賞品】をさらにご用意！！

『3つのスペシャルプレゼント』

・ 98,000 円相当
業界歴 10 年以上の
金融オリジナルレポート

・ 150,000 円相当
金融チャート
未来完全予測メソッド

・ 250,000 円相当
【極奥】資産を完璧に守る
完全版ポートフォリオ

これらご参加者さま
"全員"に無料プレゼント

お受け取りには限りがありますのでお早めに！



⇒ <http://www.fxgod.net/a/groups/1427489/25/>

これら既に無料モニターから
利益を得ている方からも
ご満足のお声を頂いております。

しかも今回に限り

抽選で

“必ず当たる”

豪華賞品もご用意致しました。

無料モニターに参加することで

稼ぐことに特化した、

どなたにでも安心して

稼ぐことができる

次世代収入法が得られます。

しかも、参加した1回だけでは

なく継続して、これから一生涯

稼ぎ続け、右肩上がりに

収益としてどんどん増えて行きます。

但し、無料モニターに応募が

殺到した際には予告なく

募集が締め切られる恐れがあるため、

今直ぐご参加をオススメ致します。

稼げる無料モニターのご参加はこちら

⇒ <http://www.fxgod.net/a/groups/1427489/25/>

=====

以上です！

それで今回のこちらの「東大式」ですが

「今でしょ！」で有名なあの東大出身の塾講師さんの

もともと生徒だったのがこの案件の板橋さんということで

またこの板橋さんが香港と日本のハーフで

HSBCに資産数千億円ある親戚もいるってことで

まあなかなか注目ですね～

相場が動く限り10年・30年・100年と稼ぎ続けられるように

【人間心理学を徹底的に追及した】

やり方ということでなかなか面白そうですね～

⇒ <http://www.fxgod.net/a/groups/1427489/25/>

それで今回は49万8000円相当の特典が

無料でもらえてしまうということで

これがなかなかすごいです

詳しくは以下の内容です。

=====

**【特典1】 98,000円相当
業界歴10年以上の
金融オリジナルレポート**

【特典解説】

**業界の裏側を徹底解剖！
情報操作を完璧に見抜く！**

**「インターネットが普及し、誰でも簡単にSNSなどで
情報発信できるようになった現代において**

**最低限のスキルとして「正しい情報」「ウソ情報」を見極める力が
必要な時代になりました。**

**「ウソ情報」に簡単に騙されてしまっている人は
富裕層仲間入りなど「夢のまた夢」です。**

**この「オリジナルレポート」では具体的事例を交えながら
「ウソ情報」に騙されないための
本当に必要な要素だけを**

ぎゅっと濃縮して、誰でもわかるように解説。

スキマ時間に流し見するだけでも、
あなたは今後一生ウソ情報に振り回されない

真の「情報強者」に生まれ変わることができるでしょう。

【特典2】 150,000円相当

金融チャート

未来完全予測メソッド

【特典解説】

「未来を予測し、圧倒的な勝利をつかむ！

莫大な利益をその手に」

「未来を予測できるものに未来は訪れる」

これは一代で世界的な自動車メーカーを作り上げた

「エンツォ・フェラーリ」の言葉です。

正しく未来を予測できれば「行動」が生まれ

「行動」が「成功」を生み、

「成功」が自信を生み

さらなる行動が生まれます。

**すなわち「絶対的な富」を生み出す「サクセスサイクル」が
完成するのです。**

**今回あなたには私が編み出した
「未来完全予測メソッド」を手にしていただき**

**あなた自身の「サクセスサイクル」を一瞬で
作り出していただき、**

**成功者への階段を「10段飛ばし 100段飛ばし」
で駆け昇っていただきます。**

⇒ <http://www.fxgod.net/a/groups/1427489/25/>

【特典3】

・ 250,000 円相当

**【極奥】 資産を完璧に守る
完全版ポートフォリオ**

【特典解説】

**「リスクを徹底回避！
安全に資産構築し、増やし続ける！」**

**「ポートフォリオとは保有してる資産を分散することで
リスクヘッジを図り、
最も効率よく資産を「安全に増やす」組み合わせ内容の
事を指します。**

**分かりやすく「卵」と「かご」を使って例えると
「卵」を1つのかごに入れてしまうと**

**その「かご」が落ちたときに
全ての卵が割れてしまいます。**

しかし一つずつ違う「かご」に入れておけば、
例え1つのかごを落としてしまっても他の卵は
安全ですよね。

さらに注目すべき部分は安全面だけではなく

「卵」によって最適な「かご」に入れることで
希少性が上がり、価値が倍増する可能性がある
ということです。

このように「最もリターンが大きく」
「リスクが小さい」最適な組み合わせを探ることで

あなたの大切な資産は100%完璧に守られ、爆発的に増えていく
ことでしょう。

そして「板橋式ポートフォリオ」を手にした瞬間、
あなたは今後一切、資産管理に悩む必要なく
安全に資産を増やし続けていくことができます。

=====

以上です！！

ということで
今回相当豪華な特典がついてまして

それが無料というキャンペーンを行っているので
なかなか面白いですね！

それでこの板橋さんですが

東京大学大学院卒業後、野村証券に入社して

入社後はG20(世界財務相会議)での

国際金融規制対応の研究を行うために

インドやドバイに出張を行ったり、

国際金融規制の対応の研究レポートを

日銀および金融庁に提出するなど、

日本を動かすエリート達と肩を並べ、

日本の金融の第一線で活躍した経験もあり

投資に関しては、大学在学中の18歳から始めており、

既に10年以上のキャリアを持っており

野村証券を退社後は投資家として独立

ということなので

相当経験値はある方なので

なかなか面白そうですね～～

ということで今回は49万8000円相当の特典も

魅力的ですので

ぜひご覧くださいね～

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

<新無料案件>

【49万円相当の特典⇒無料】

東大卒業後に2億5375万円を稼いだ男が登場！

⇒ <http://www.fxgod.net/a/groups/1427489/25/>

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

=====編集後記=====

さてさて、今日はずばり「アメリカの財政赤字」について

考えます！

これは上で書きましたが以前にトランプ大統領が

ツイッターで

「アメリカの財政赤字は21兆ドル=日本円で大体2300兆円前後」

あるってことを発言してるんですね。

これは結構すごい発言で、

今まで大統領職の人たちってのはこの辺をオバマなんかも

そうだったけど

あまり直接的に言及しないようにしていたわけですよ。

ただトランプの場合、あの人の場合、正直に言ってしまおう、

ツイートしてしまう人ですから

時々こういう本当のことをポロっと分かる人にわかればいいや

くらいの感じで書くわけですね。

ちなみに彼のツイッターは結構面白くて

自分自身がNYダウを吊り上げてるくせに

「NYダウは最高値を更新した。

楽観を共にして」

なんて事を書いてますが、これがまさに年末の今の

暴落を示唆してたりしました。

これは当時扱ったと思います。

だからトランプの本質付いた言動ってのは
忘れたところにこれ、結構利いてきたりするので
面白いですよ。

それで、今年結構驚きのトランプツイッターの内容が

あってそれが

彼の

「アメリカは2 1兆ドルもの財政赤字を抱えているのだ。」

関税を諸外国にかけることで

はじめてこの大借金の返済を始められる。

この大赤字はオバマのときにつみあがったものである。

けども外国製品への高関税でアメリカ国民の税金を下げることも

できる。・・・」

という発言でした。

ここで

「アメリカは2 1兆ドルもの財政赤字を抱えているのだ。」

という結構すごいワードを今年の夏終わりに混ぜ込んできたのですが

これは各メディア、かなり不都合だったのでスルーしました。

が、はっきりツイッターではトランプは言ってるわけですね。

これは今まで 草の根の言論では言われていたことで

本当はアメリカの財政赤字は日本円で何千兆円あるんだ、

もしくは 兆の上の 京 だという話は言われていたわけで

私のメルマガでもそれをよく書いていました。

が、世間的には「ほんまかいな」的な内容だったんだけど

これをトランプ本人が言った面白さがあるんですね。

それで彼が発言したこの財政赤字が

トランプ任期中なのかその直後なのかおそらく

「効いてくる」わけでした

それが長いこと続いたドル覇権の終わりにつながっていくんだな～

ってのも分かるわけです。

それでトランプ大統領がある種「公式に」発言した

この21兆ドル、の数字を覚えておくべきです。

これは英語で

"Because of Tariffs we will be able to start
paying down large amounts of the\$21 Trillion
in debt that has been accumulated . . . "

って彼は発言したけど、

この21兆ドルって数字はなかなかすごいけど

きっと将来ドル覇権が終わるころには

このトランプの発言が注目されて

「そういえばあいつ、ツイッターでポロっと2018年に

財政赤字のこと正直に言ってたよな」

と、なるわけです。

トランプのツイッターってのは結構面白くて

ある種の政権のプロパガンダ的な明白なウソとかハッタリを

混ぜるんだけど

その中にぽろっと分かる人が分かるように

そのプロパガンダでカモフラージュして

彼の本音をねじ込むんですね。

そういう風に見ると彼のツイッターは結構読む意味が

あるんです。

それで今年なんかはトランプがまさに財政赤字のことを

言及しましたが

「米政府機関、一部閉鎖へ つなぎ予算可決できず」

というのがCNNでまさに2日前に報道されてるわけですけど

上記トランプのツイッターは8月終わりのことでしたが

これが3ヶ月経過してこのように

米政府の閉鎖につながってるわけですね。

それで日本のメディアはこの辺の報道に消極的なんだけど

上記のツイッターの21兆ドルの財政赤字に言及すれば

ニュース見てる人が

「あ、だから閉鎖なのね、さすがに2300兆円の

借金あったらきついよね」

と分かるわけだけど

それは書けないものだから

よく分からない記事で日本では急に政府閉鎖されたように

寝耳に水で報道されてるのでしょうか。

ますます、報道を見てる人は良く分からないとなります。

それで事実はずさまじい借金がアメリカを苦しめてるといのが

実態なんだけど、

実は・・・21兆ドルというのもトランプが

~~~~~

「低く盛ってる」んですよ。

~~~~~

これはトランプなんかは選挙戦前には自由に発言できたから

自由に言ってたはずですが

本来アメリカの借金はその数倍あるわけです。

副島先生が試算したデータだと

まず、「中央政府としては」2300兆円の財政赤字だけど

他には実は50の州と、40の大都市がそれぞれ

発行した債券なんかで抱える赤字がありまして、

これにさらに健康保険と年金支払いの赤字分が

累積されてます。

だから副島先生の試算だと、大体

21兆ドルの3倍前後、だから

60兆ドルから70兆ドル、

大体日本円で7000兆円前後の借金は

アメリカは隠し持ってるわけですね。

とりあえずトランプとしてはツイッターで

そのうちの一部、中央政府分だけ発言しても

まあなんとかなるだろう、

ということで大統領になった後発言してますが

確か彼は選挙戦前にはこの辺も言及していたのを

私は見たことがある。

んで結局トランプがその選挙戦前に

言ったことがあって

それが私のメルマガでは有名な彼の発言、

「債務の再交渉をすればよいさ」

発言があるわけです。

これは米国債デフォルトすればいいさ、って意味です。

彼なんかは選挙戦前の2016年5月あたりに

CNBCに出てきて

「私は、額面以下で返済できると知って金を借りて来たのだ。

しかも、非常に上手いやり方でね」

「経済が破綻すると分かれば、

借金するだろう。取引できるものさ」

なんて発言してたんですね。

「取引」ってのは債務の再交渉ですから

米国債が金利上昇に直面するリスクに言及してるわけだけど、

そして今年はまさに3%になったけど

ある意味選挙戦前にトランプが指摘していた状況に

なってるわけですが

トランプはまた選挙戦前には

「景気が悪化すれば、債務の再交渉もありうる」

とちゃんと言ってるんですね。

これはメディアが報じたがらないだけで。

それでトランプなんかはこれらの債券をめぐる発言は

2017年くらいは控えていたように見えますが

2018年にはちよろちよろ、言い出してる。

まあだからやはりこれからも、このアメリカの財政赤字問題

というのが根本にあって、

それが色々波及して世界経済に打撃を与えていきそうです。

それでアメリカの政府部門としては本当は上記の

少なくとも7000兆円前後は本当は財政赤字を隠し持つてる

わけですが

実はこれだけではなくてトランプが発言できない部分として

民間部門の赤字もあるわけですね。

政府部門は7000兆円でも

民間部門だとこれ大銀行や大証券や

生命保険、などの金融法人があつて

これがまた60兆ドルで7000兆円近く同じく

簿外に累積借金で抱え込んでます。

ちなみにこれがなぜ表に出ないのか？というと

それは隠れ負債 Hidden debt と言われまして

これらの金融法人は子会社持つてるんだけど

この子会社のノンバンクにそれらの借金を

移してるわけです。

いわゆる日本語でいう「飛ばし」ですが

たぶんだけでもトランプが会計検査院に

まだ、この飛ばしを見てみぬ振りするように言ってる。

ただこれがトランプの裁量でいつ会計検査院が

「真面目」になるかは分かりませんから

ここで民間部門の借金が表に出たら結構ヤバいんですね。

そういう意味でアメリカの好調ってのはよく宣伝されるけど

それは会計検査院なんかがこの辺うまく

民間部門の抱えてる借金を見てみぬ振りしてるからである

ともいえますね。

だから政府部門と民間部門ですと

だいたい合計の借金額がアメリカって

1京4000兆円なんです。

これ、驚きますか??

けどこれは冷静にアメリカの抱えてる借金なんかを

考えていくとやはり1京は越えるんですね。

ただここで今は延命してる状況であるんだけど

当然そんな借金状態で国家運営しても

アメリカ人は貧しくなるだけです。

もう借金返済のために税金が上がるだけ。

トランプも税金に言及してます。

日本にも米国債を買わせてるから

(正確にはアメリカ帝国覇権が崩れると日本の

官僚は困りますから、官僚たちが率先して

特別会計から買ってるんだけども。政治家は弱いから文句言えない。)

日本人もこれ貧困化が進んでるし、増税は進んでるし

ヨーロッパも貧困化が進んでるし、増税は進んでいて

フランス人はこの前さすがに燃料税で怒っちゃった。

それでトランプを支持してる人間はリバタリアンが

多いんですけども

彼らの考え方って日本では一切理解されてないけど

この財政赤字のことを知ってれば、分かります。

例えばだけど年収300万円のサラリーマンが

50億円の借金を背負ったとします。

返せっこありません。

そんな状況でがんばって働いて返そうとしても、

疲弊するだけですよね。

だからリバータリアンってのは合理的に

「そんな借金返せっこない。だから「債務の再交渉」でも

なんでもして

借金の整理して、そのときには信用は落ちるけども

(ドルの信用)

けどそれで一度クリアにして、再度0から出発すべきだ」

という主張をするわけですね。

これはかなり当たり前の主張といえば当たり前の

主張です。

が、これを国家単位でやれば債券デフォルトですから、

すなわち、それはドル覇権終了ですから

そこでドル覇権を維持したい勢力との

戦いになるわけで

それが今の世界の戦いです。

んで、トランプはこのリバータリアンたちの意見を

汲み取る人ですから

だからあえて今 世界から米軍撤退させて

石油決済なんかもドル離れをあえてさせて

ドル覇権を衰退させるような政治手法をあえて

取ってるといえれば分かりやすいでしょうか。

そういう意味ではトランプの政治手法はリバータリアンの

望んだものであるから

だから彼を支持する人はアメリカでは多いわけで

中間選挙では上院を制したわけですね。

が、さすがにこの話はドル防衛の勢力が日本のマスコミだったり

するから報じられません。

それで数字の話をすると、

仮に米国債の金利が3%だとしても

トランプが今回言及した21兆ドル、2300兆円の

借金の利子分だけでも

2300兆円×3%ですから

大体70兆円は支払いがあるんです。

毎年のようにこの70兆円の支払い義務が生じるわけです。

だから仮に米国債金利が4%とかになったら

23兆円は増えるわけですから

1%金利が上がるってのは恐ろしいことです。

それでせめて利子分だけでも返済しないといけませんから

そこでもうアメリカは帝国ですから

日本からもヨーロッパからもお金かきあつめて

日本なんかも毎年30兆円は助けてるんじゃないでしょうか。

これは日本の官僚としてもアメリカの債券がデフォルトとかになると

一気にアメリカの盾がなくなって

アメリカの代理人として政治家より優位性を保っていた

支配戦略が崩れますから

やはり30兆円は政治家に出させる。

それでトランプが言ってることの意味ってのは

もしアメリカへの先進国からの輸入品に

25%の高関税をかければ

それだけで日本円でいうと、23兆円は作れるんですね。

だからそれでなんとか利子分は払えるんです。

だからそこで自由貿易もくそもないことをトランプは

やってるわけですが

ただもっと大きく長期で見ると、米国債金利が
さらに上昇するような、ドルはなれを起こす政策を

行ってるから

やはり短期中期では自分の政権期間中はなんとか

持たせるけども

最終的には この借金支払いができないような

政策を取ってる、といえますね。

それで一応今のところは短期中期では

「俺がなんとか外国から資金を巻き上げてきたぞ。

だからこれでなんとか連邦政府の借金支払いができるのだ。

税金もちょっと安くできる」

なんてやってるわけですね。

だから一応公表されてる21兆ドル分の

利子分だけはなんとか、

大統領の俺が払ってみせる、ということで

アメリカの官僚たちに啖呵を切ってるわけです。

ただ長期で見るとそれこそ米中貿易戦争なんて

言われてますが

どんどんそこでアメリカ離れ、ドル離れが起こってきますから

アメリカは追い込まれていくわけですが

その長期のドル覇権衰退の流れを作ったうえで

短期中期では一応 その利子分で延命しようとしている

ってというのがトランプの政策の少し特殊なところですね。

本当の彼の本音は選挙戦中に彼が言っていた

「債務の再交渉」をして一から

アメリカが世界の帝国ではなく

北米の地域覇権国として出直すことでしょうか

ただ今のところは借金を返してアメリカの威信を守っていくような

ことを発言してるわけです。

だからトランプというのはある意味思想に忠実なんだけど

短期中期では 一応ドルを防衛するような行動を取るのだけど
(すなわち債券の利子分の借金を返せるような行動を取るのだけど)

そこで一定程度の人気は獲得するけど

実は長期ではどんどんアメリカの覇権を放棄させるような

動きを作ってるってことですよね。

(トランプを支持するリバータリアンたちが見てるのは
彼の裏のこの長期の動き。)

必然的にアメリカの債券市場は彼の影響で

長期で終わっていくと。

それでどうも 最近の日本含めたアジア各国の

トップたちはそれを知っているから

マレーシアのマハティールもだし、韓国のムンも

そして日本の安倍も、

もうその後の世界に適応するように動いてますよね。

日本やマレーはT P P 1 1でアメリカ抜きのT P Pでなんとか

やろうとしているし

また韓国なんかは北朝鮮という最後の未開拓市場を取り入れて

なんとかやろうとしている。

中国や露西亜はひたすら

ドルの威信が低下したら必然的に値上がりする

金ゴールドを買いあさってる。

(そしてこの金の値決めは今まではニューヨークだったけど

これから上海になる)

ということで

今までは各国のQEジャブジャブマネーなんかで

なんとかこれらの状況を隠し通していましたが

アメリカ、日本、欧州などその影響でどんどん増税されて

民衆も耐え切れなくなってる情勢は

アメリカと欧州あたりでは

強く見て取れますので、

そして税が取れないとなると、結局この隠してきた

財政赤字と向きあわないといけない、ということです。

それでこれから世界はどうしても

このアメリカの政府部門と民間部門の合計1京4000兆円の

借金というのと向き合わないといけなくなっていますので

大変な環境で世界経済は動いてるともいえますから

こういう大きな状況を理解しておくことは大事なかと

思いますね。

正直最近の市場ではナンピン買いなんかが通じた市場だった

わけで

ナンピンとかは駄目と言われつつも、

そういう新参投資家はこの数年生き残っていたのだけど

これからは彼らも駆逐される可能性があるので

ちゃんとレバかけた投機なんかでは

損きり力は必須になりますね。

なので投機を学ぶ際にはやはり基礎に忠実な

損きり早く、利益確定伸ばすというのが

大事になってくるのだらうと思いますね。

あとはアメリカ関係の債券とか株とか、

まあかなりリスクははらむのは分かりますから

「暴落しても儲かる方法」なりをヘッジとして

構築、準備しておくのは

大事ですね。

トランプの分析をすると明確に

長期では 債務の再交渉をアメリカがせざるを得ない状況に

誘導してくる、と思われまので

そしてそうなると世界の200年続いた

帝国支配のルール自体が大きく変更されるので

まさに欧米先進国が世界を引っ張るのではなくて

どちらかという

有色人種のアジアとかアフリカとか南米とか中東で

中間層が生まれて彼らが経済を引っ張っていく

新しい秩序に変化するでしょうから

それに対応する姿勢がまさに大事です。

それでは！

追伸・・・ちなみに最近日本人は上記の変化に

気づいていないけど

欧州人なんかはもう気づいていて、次はどうも

アジアの時代になるからってことで

英語でいうと Mandarin だけど

中国語（北京語）を学習してる欧州人を

よく見かけるようになりました。

台湾なんかにいると、かなり欧州系の方を見ますし

韓国でもそういう欧州人に会いました。

日本のマスコミはこの辺の変化を報じたりませんが

世界の今までの既存の常識はどんどん変化しておりますね～

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

＜新無料案件＞

東京大学大学院卒業後に
2億5375万円を稼いだ男が登場！

東大卒業後に1年で2.5億円稼いだ

この板橋さんが
今回なんと49万8000円相当のプレゼントを
無料で配布するそうです！

【49万円相当の特典⇒無料】

東大卒業後に2億5375万円を稼いだ男が登場！

⇒ <http://www.fxgod.net/a/groups/1427489/25/>

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

ゆうPDFレポート

【アメリカでリーマンショック以来初めて
ジャンク債の発売が売れ行き不振で0件になっている】

⇒ http://fxgod.net/pdf/junk_zero.pdf

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

【ゆうのPDF分析レポート（国際政治力学）】

2019年は在韓・在日米軍撤退議論が
一気に重要トピックになっていく】（22ページより）

⇒ http://fxgod.net/pdf/2019_zaikanbeigun.pdf

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆